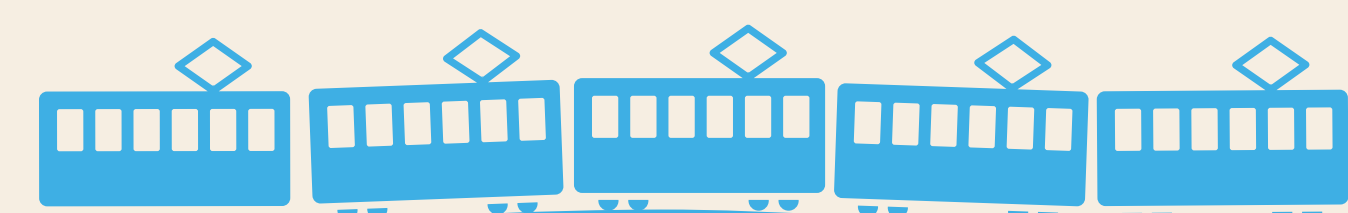


5

日本で最初の地下鉄

地下鉄銀座線

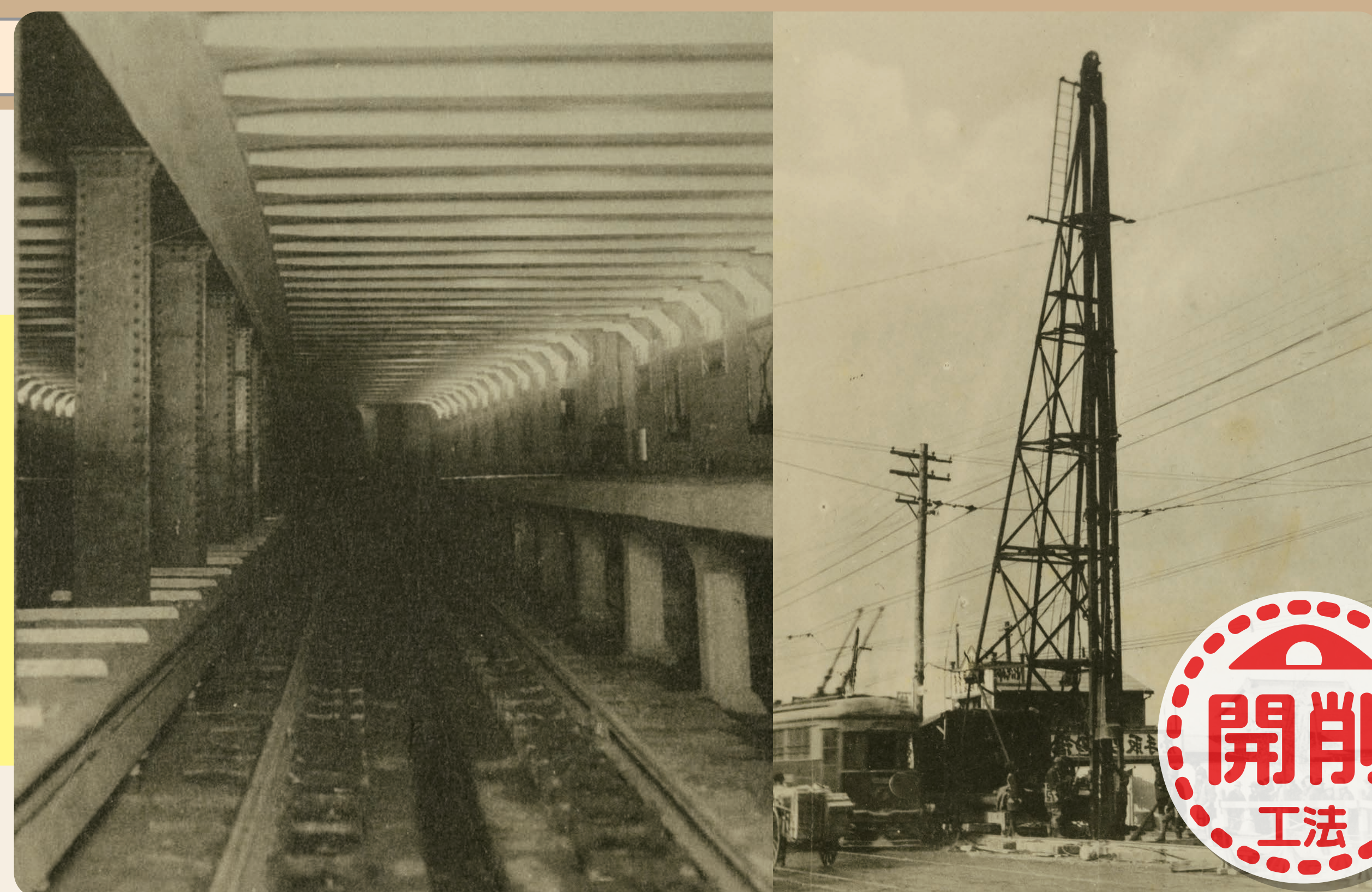


1927年(昭和2年)に浅草～上野間で営業を開始した日本で最初の地下鉄で、1939年(昭和14年)には渋谷までの全区間で開業しました。当時のポスターでは「東洋唯一の地下鉄道」というキャッチコピーが使われ、アジア地域では初めての地下鉄路線です。

現在、地下鉄博物館に展示されている日本初の地下鉄車両1000形などが近代化産業遺産として認定を受けています。

施工には開削工法が採用され、駅と線路部が作られました。都市機能を維持するため、路面電車を走らせながら工事を進めたことが特徴です。

また、田原町付近で地盤が大きく崩壊したり、豪雨により土留め(掘削面の防護)が崩壊し道路陥没が起きるなど、都市土木特有の困難を克服しながら、2年3ヶ月の工期で完成させました。



写真提供:東京地下鉄(株)

日本初の地下鉄車両1000形
(地下鉄博物館展示)

東京都台東区

ここが
ポイント!

日本初
(アジア初)
の地下鉄

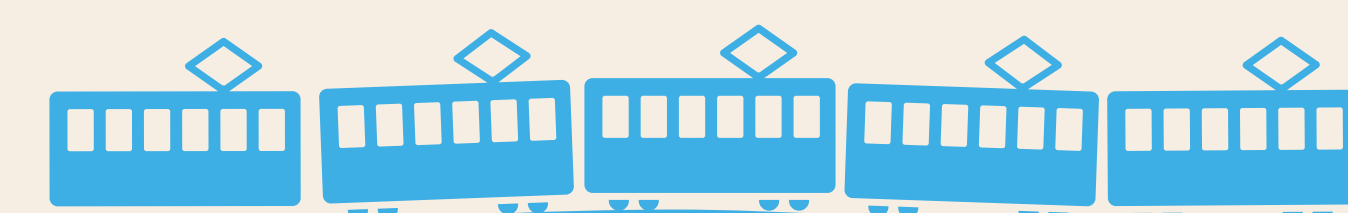
路面電車を
走らせながら
地下鉄を建設

90年近く
元気に活躍

6

日本で一番深い地下鉄駅

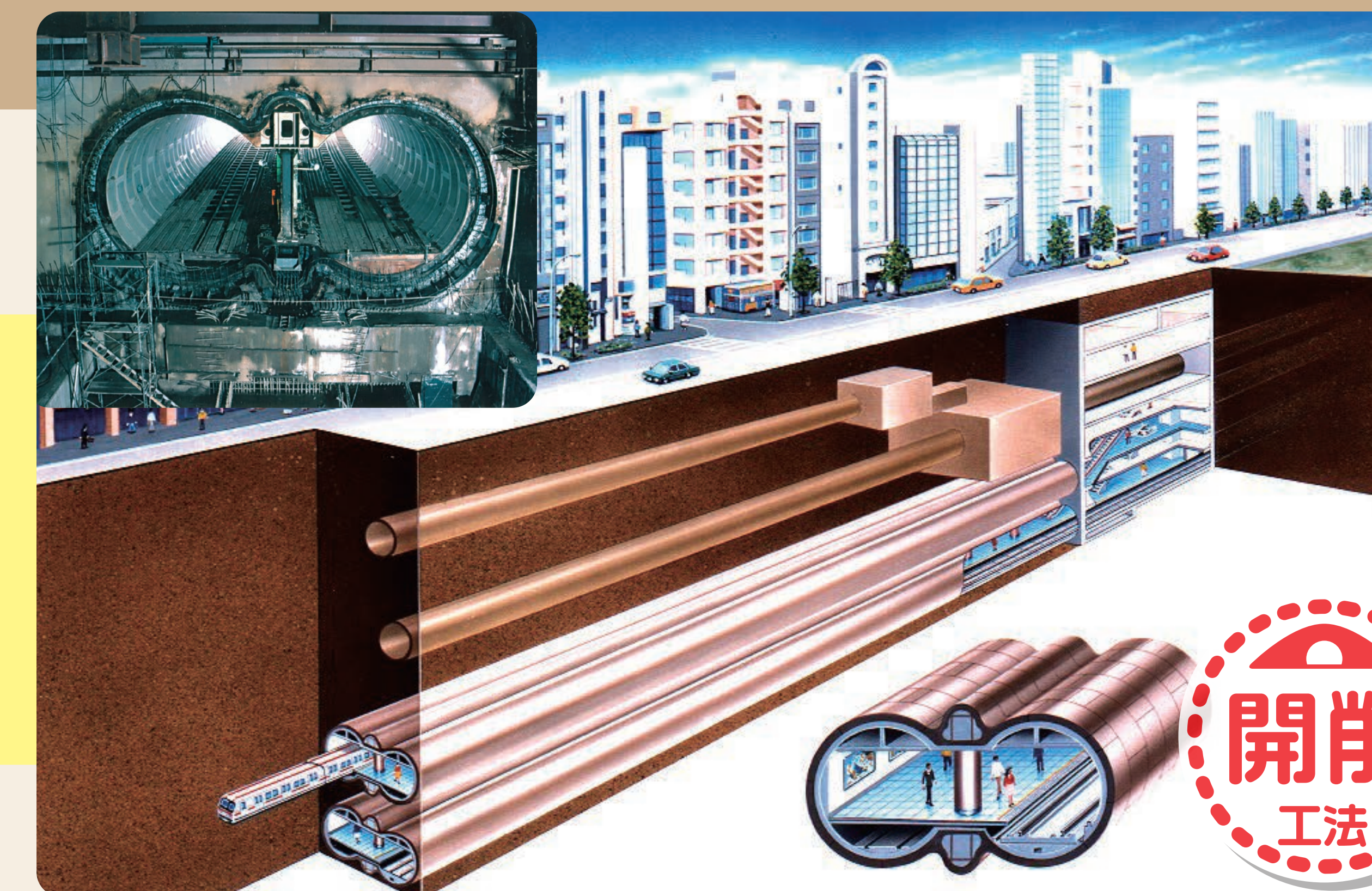
大江戸線六本木駅



2000年(平成12年)に開業した最も深い地下鉄の駅で、深さは42.3mです。

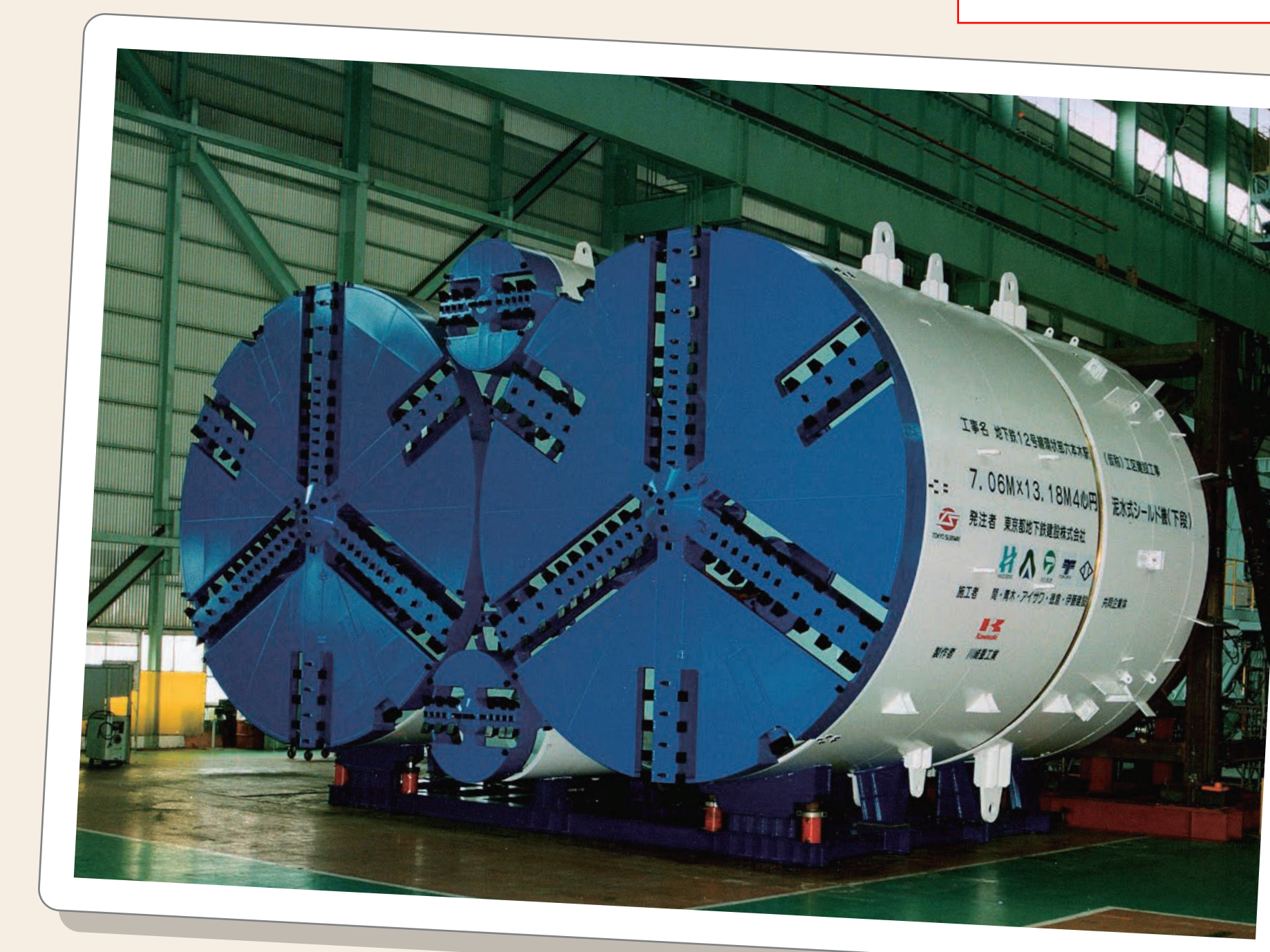
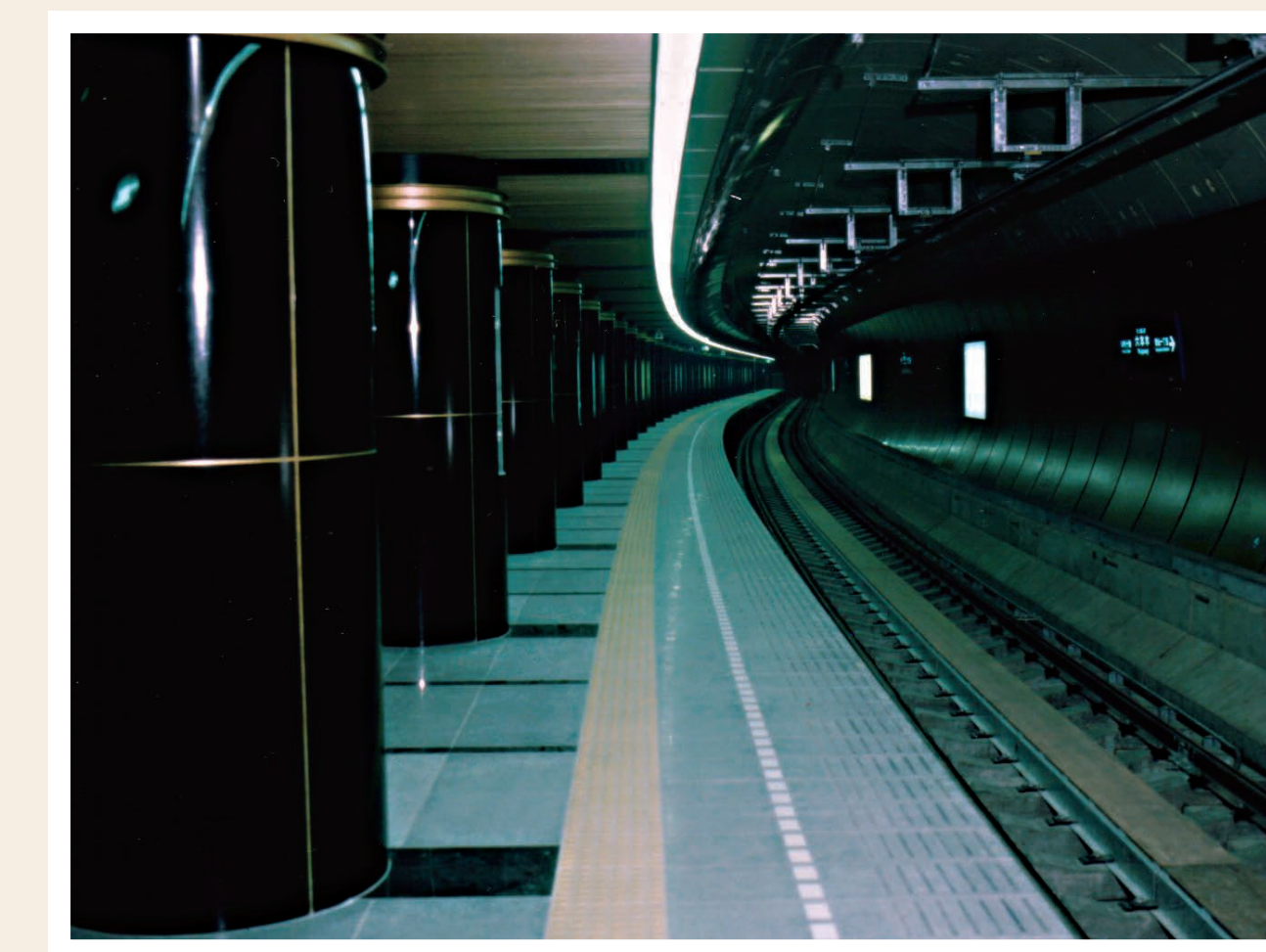
駅の両端部分の工事には開削工法が採用されましたが、狭い道路や作業時間の制約、大型の電力施設を抱えながら掘削したため、約7年の期間を要しました。地上の交通量が多い駅中央部分は、開削工法による施工が困難なため、シールド工法により建設されました。

使われたシールドは、4つの空洞を同時に掘ることができる『4心円』と呼ばれる形状で、この工事のために新開発された、幅13,180mm×高さ7,060mmの巨大なシールドです。上下左右に配置された4面のカッターを使用して、左右は電車とホームの空間を、上下は中央の支柱を支える縦桁の空間を同時に掘削し、わずか10ヵ月という短い工期で上下2段の駅トンネルを完成させました。



写真提供:東京都交通局

&シールド

写真提供:東京都交通局
シールドマシン

写真右:六本木駅構内



東京都港区

ここが
ポイント!

日本で一番
深い地下鉄の駅

巨大な
シールドマシン

上下2段の
近接施工